

# LIXIL Gフレーム ファンクション柱 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>


**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- シーリング材は、現場で手配してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。


**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

**お願い**

- 取付け手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。

## <施工上のご注意 つづき>

### ポイント

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるように柱の切断や埋込み調整をしてください。●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
〈推奨トルク〉φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm) φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## <基礎工事についてのご注意>

### 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

### お願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

### ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## <電気配線工事について>

### 注意

- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- AC100V用照明用配線にはVVφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- PF管は現場で別途手配してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルがを別途準備してください。AC100Vを直接接続しないでください。

# 1. 施工の前の重要確認事項

※施工時には下記の事項を厳守してください。

## 1-1 ファンクション柱にフレームのみを設置する場合のフレーム長さ制限について

### ポイント

- 下記表にしたがって施工してください。×は取付不可を示します。
- ※はH24のみ可を示します。

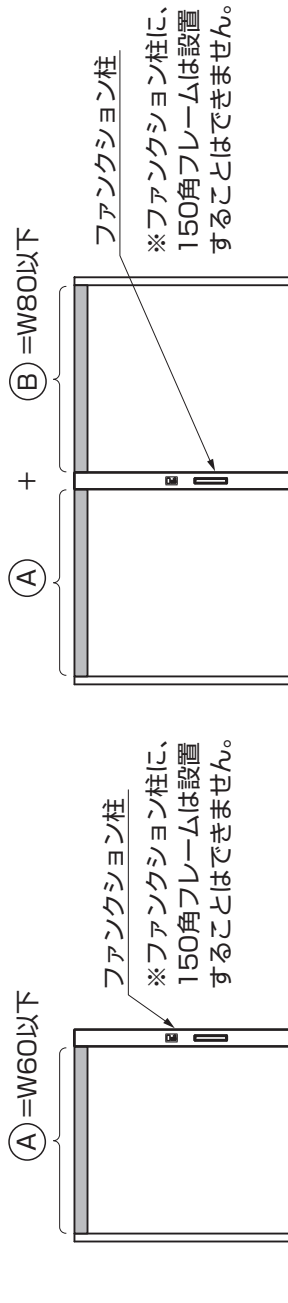


表1-1

(A)	(B)	フレーム															2207フレーム	
		サブフレーム W10~W30	W10	W14門	W15	W16門	W20	W30	W40	W50	W55	W60	W60	W60	W60	W60	W60	
サブフレーム	W10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W14門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
フレーム	W15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W16門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
2207フレーム	W55車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W55+車太	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
	W60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※

# 1. (つづき)

## 1-2 ファンクション柱を門扉柱として設置する場合の門扉サイズとフレーム長さ制限について

### ポイント

- 下記表にしたがって施工してください。×は取付不可を示します。
- 調整金具Oを使用した門扉の取付けはできません。
- ※はH24のみ可を示します。

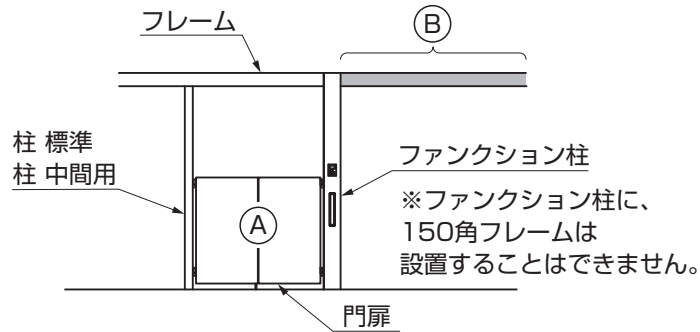


表1-2

A	B	サブフレーム				フレーム								220		
		W10	W15	W20	W30	W10	W14門	W15	W16門	W20	W30	W40	W50	W55	W60	フレーム
門 扉	07-12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	07-14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※	×	×	×	×	
	08-12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※	×	×	×	×	
	08-14	○	○	○	○	○	○	○	○	○※	○※	×	×	×	×	
	08-16	○	○	○	○※	○	○	○	○※	○※	×	×	×	×	×	
	09-14	○	○	○	○	○	○	○	○※	○※	×	×	×	×	×	
	09-16	○	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×	×	
	09-18	○※	×	×	×	○※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	10-16	○※	×	×	×	○※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※門扉サイズは取付ける間口の半分当たるサイズの代替え表示

例 05・09-14の場合 05+09=14 14/2=07 → 07-14で判断

## 1-3 ファンクション柱にGスクリーン+フレームを設置する場合のGスクリーンとフレーム長さ制限について

### ポイント

- 下記右表にしたがって施工してください。×は取付不可を示します。
- ※はH24のみ可を示します。

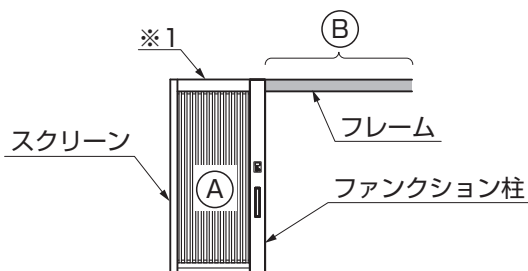


表1-3 デザインフレーム取付け範囲本数目安

	目安枚数		
	水平	45°	垂直
~500	15	5	5
~1000	30	11	11
~2000	60	23	22
~2900	87	33	32

表1-4

A	B	サブフレーム	フレーム										220フレーム	
		W10~W30	W10	W14門	W15	W16門	W20	W30	W40	W50	W55	W60	W60	
細縦格子	W10	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
	W15、W20	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×	×	×	
ルーバー	H24、H29	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×	×	×	
横格子	W15、W20	設置不可												
角格子	W15、W20	設置不可												
フリー スクリーン	W10	H16、H24	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○	×	×	×	×	×
	W20	H16、H24	設置不可											
サニーブリーズ 取付け枠	T8、T10、T12	○	○	○	○	○	○※	○※	×	×	×	×	×	
	T16、T18	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×	×	
縦長格子	W15、W20	設置不可												
横 スリット	W15	基本(1枚)	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○	×	×	×	×	×
		基本+連結 (+連結)	○※	○※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	W20	基本(1枚)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		基本+連結 (+連結)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
デザイン フレーム	W10	~500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※
		~1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○※	○※	○※	×
		~2000	○※	○	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×
	W15	~500	○	○	○	○	○	○	○	○	○※	○※	○※	×
		~1000	○※	○	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×	×	×	×
		~2000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	W20	~500	○	○	○	○	○	○	○	○※	○※	○※	○※	×
		~1000	×	○※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		~2000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※縦格子タイプ・外付け縦格子タイプ・外付け横格子タイプのフレーム制限は、「縦格子タイプ・外付け縦格子タイプ・外付け横格子タイプ (EXM-015)」を参照してください。

# 1. (つづき)

## 1-4 ファンクション柱を端部の柱として設置する場合のGスクリーンの制限について

※柱連結材を取付けた場合のファンクション柱側の制限も同様です。

### ポイント

- 下記表にしたがって施工してください。×は取付不可を示します。
- ※1 取付けフレームはW50以下にしてください。
- ※はH24のみ可を示します。

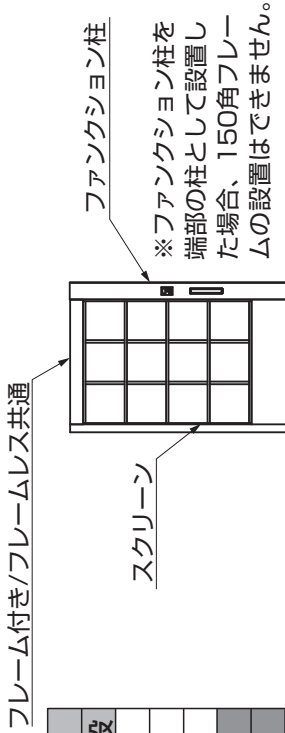


表1-6

フリー スクリーン枠	W10	H16	○
	W20	H24	○※
サニープリーズ 取付け枠	W16	H16	○
	W24	H24	設置不可
門扉	T8	T8	○
	T10	T10	○
	T12	T12	○
	T16	T16	○
	T18	T18	○※
門扉		07-12, 07-14, 08-12, 08-14, 08-16, 19-14	

表1-7 デザインフレーム取付け範囲本数目安

	目安枚数		
	水平	45°	垂直
~500	15	5	5
~1000	30	11	11
~2000	60	23	22
~2900	87	33	32

表1-5

	クリアマット取付け枚数						
	0段	1段	2段	3段	4段	5段	6段
細縦格子	W10, W15	○	○	○	○	○	○
	W20	○※	○	○	○	○	○
ルーバー	W10	○	○	○	○	○	○
	W15	○	○	○※	○※	○	○
横格子	W20-H15	○	○	○※	○※	○	○
	W20	○	○	○	○	○	○
角格子	W15-4段用-4段	○	○	○	○	○	○
	W15-5段用-5段	○	○	○	○	○	○
	W20-3段用-H15	○	○	○	○	○	○
	W20-4段用-4段	○	○	○	○	○	○
	W20-5段用-5段	○	○	○	○	○	○
縦長格子	W15下段パネル有	×	○	○	○	○	○
	W15下段パネル無	○	○	○	○	○	○
	W20下段パネル有	×	○	○	○	○	○
	W20下段パネル無	×	○	○	○	○	○
スリット	基本(1枚)	○	○	○	○	○	○
	基本+連結(+連結)	○	○	○	○	○	○
	基本(1枚)	×	○	○	○	○	○
	基本+連結(+連結)	×	○	○	○	○	○
デザイン フレーム	W10	○	○	○	○	○	○
	~2000	○	○	○	○	○	○
	~2900	×	○	○	○	○	○
	~1000	○	○	○	○	○	○
	~2900	×	○	○	○	○	○
W20	~500	○	○	○	○	○	○
	~1000	○※	○	○	○	○	○
~2900	×	○	○	○	○	○	

## 1-5 ファンクション柱を端部の柱として設置する場合のGスクリーンとフレーム長さ制限について

### ポイント

- 下記表にしたがって施工してください。×は取付不可を示します。
- 調整金具○を使用した門扉の取付けはできません。
- ※はH24のみ可を示します。

表1-9 ※横格子、角格子の取付けはできません。

(A)	(B)	門扉サイズ (W-H)									
		07-12	07-14	08-12	08-14	08-16	09-14	09-16	09-18	10-16	
細縦格子	W10	○	○	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※
	W10以外	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
ルーバー	W10	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	H16	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
フリー	W10	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	H24	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
スクリーン枠	W20	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	T8	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
サニーブリーズ 取付け枠	T10	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	T12	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	T16	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
	T18	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	
縦長格子		×	×	×	×	×	×	×	×	×	
スリット		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
デザイン フレーム	W10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~2000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
W15	~2900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~2900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
W20	~500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	~2900	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

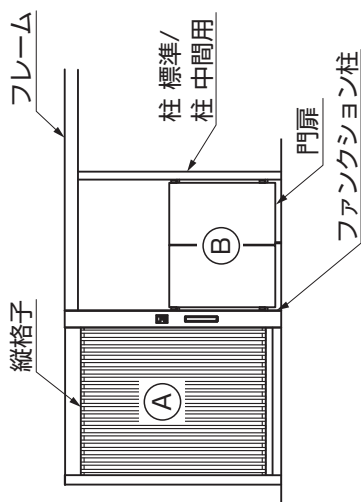





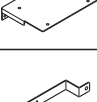
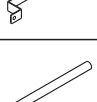
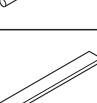
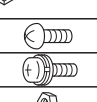





表1-8 デザインフレーム取付け範囲本数目安





	目安枚数	
	水平	垂直
~500	15	5
~1000	30	11
~2000	60	23
~2900	87	33

## 2.梱包明細表


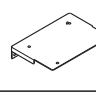
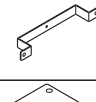

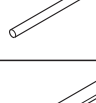
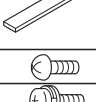




【1】ファンクション柱セット

名 称	略 図	員 数			
		H24		H29	
		有	無	有	無
ファンクション柱		1	1	1	1
バックパネル上		1	1	1	1
バックパネル下		1	1	1	1
バックパネルフタ		2	2	2	2
ポスト投入口カバー		1	1	1	1
ポスト固定金具		1	1	1	1
インターホン取付金具		2	-	2	-
アンカー棒		1	1	1	1
カバー用クッション材		2	2	2	2
【1-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		24	18	26	20
【1-2】M5×12ナベネジ Wセムス		4	4	4	4
【1-3】M5用六角ナット		4	4	4	4
取付説明書 Gフレーム-ファンクション柱-(A451)	-	1	1	1	1

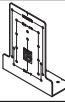
【2】ファンクション柱（中間用）セット

名 称	略 図	員 数			
		H24		H29	
		有	無	有	無
ファンクション柱 中間用		1	1	1	1
バックパネル上 中間用		1	1	1	1
バックパネル下		1	1	1	1
バックパネルフタ 中間用		2	2	2	2

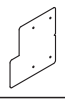

【2】ファンクション柱（中間用）セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		H24		H29	
		有	無	有	無
ポスト投入口カバー		1	1	1	1
ポスト固定金具		1	1	1	1
インターホン取付金具		2	-	2	-
支柱連結金具		2	2	2	2
アンカー棒		1	1	1	1
カバー用クッション材		2	2	2	2
【2-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		28	22	30	24
【2-2】M5×12ナベネジ Wセムス		4	4	4	4
【2-3】M5用六角ナット		4	4	4	4
【2-4】φ4×19ナベドリルネジ		4	4	4	4
取付説明書 Gフレーム-ファンクション柱-(A451)	-	1	1	1	1






【3】フレーム施工キットA

名 称	略 図	員 数
フレーム取付穴位置治具		1
取付説明書 Gフレーム〈E248〉	-	1
取扱説明書 Gフレーム〈UE067〉	-	1

【4】調整金具取付部材セット

名 称	略 図	員 数
調整金具施工治具		1
【4-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8

【5】ファンクション連結材セット

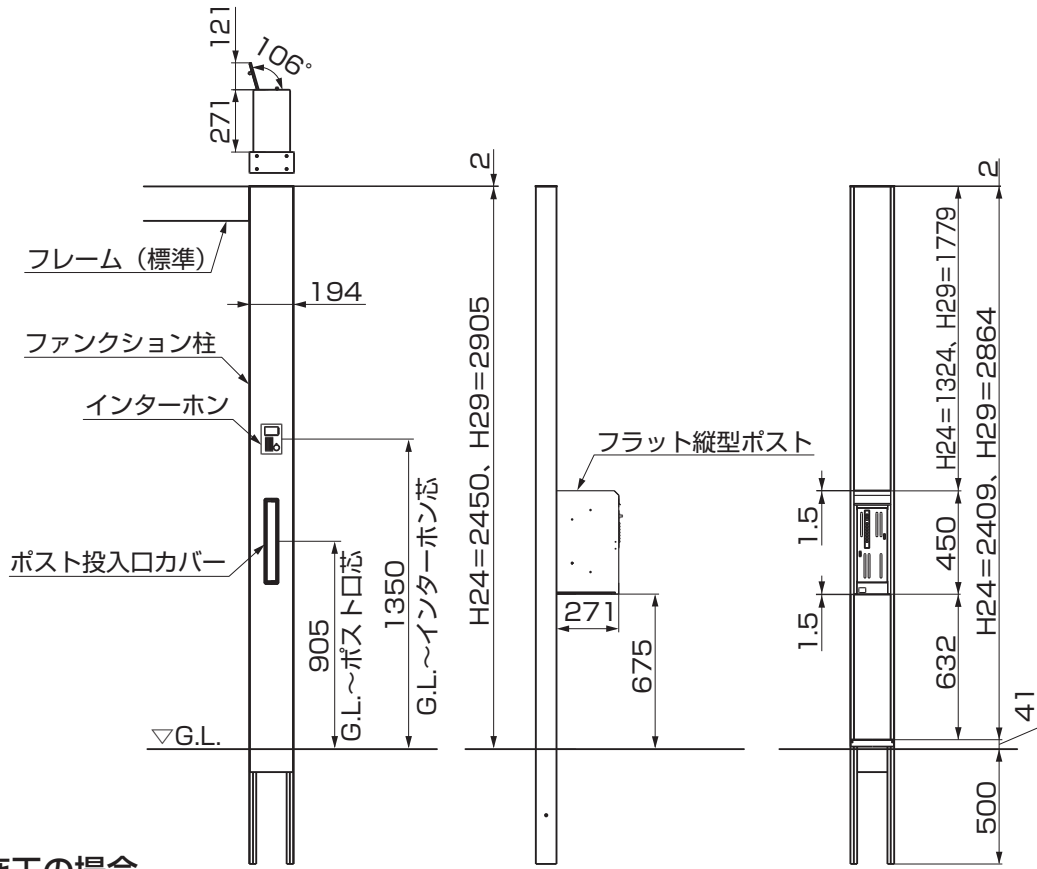
名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ファンクション連結材A		1	1
ファンクション連結材B		1	1
連結カバー		1	1
【5-1】φ4×10トラスタッピンネジ2種		16	18
【5-2】φ4×13ナベドリルネジ		4	5

オプション

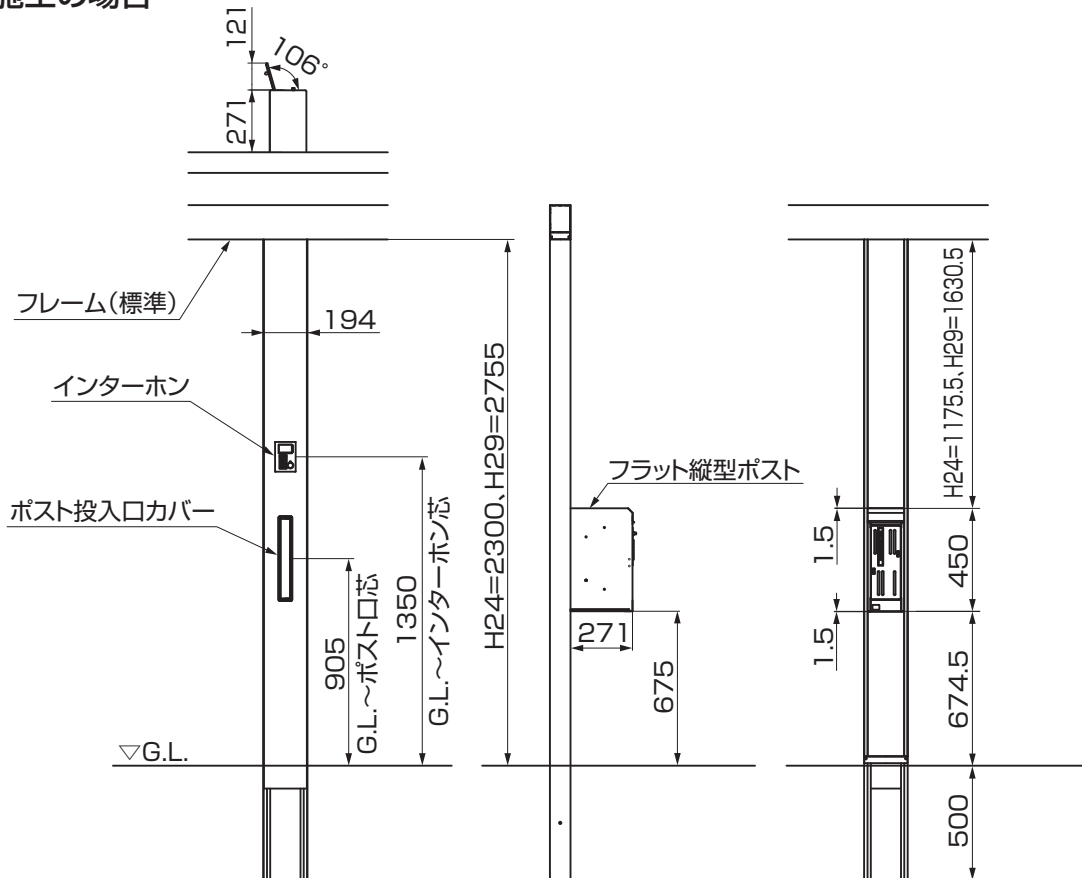


### 3. 基本寸法と各部の名称

#### 3-1 端部施工の場合



#### 3-2 中間施工の場合

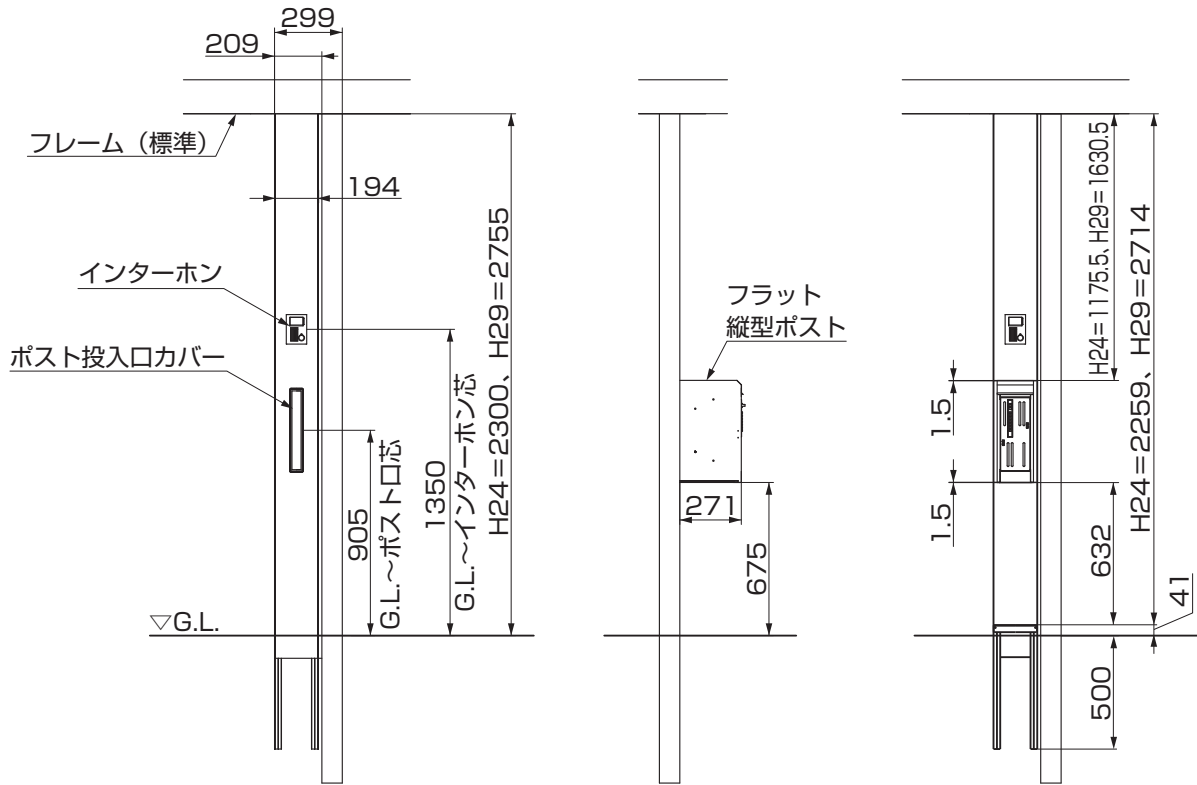


### 3.(つづき)

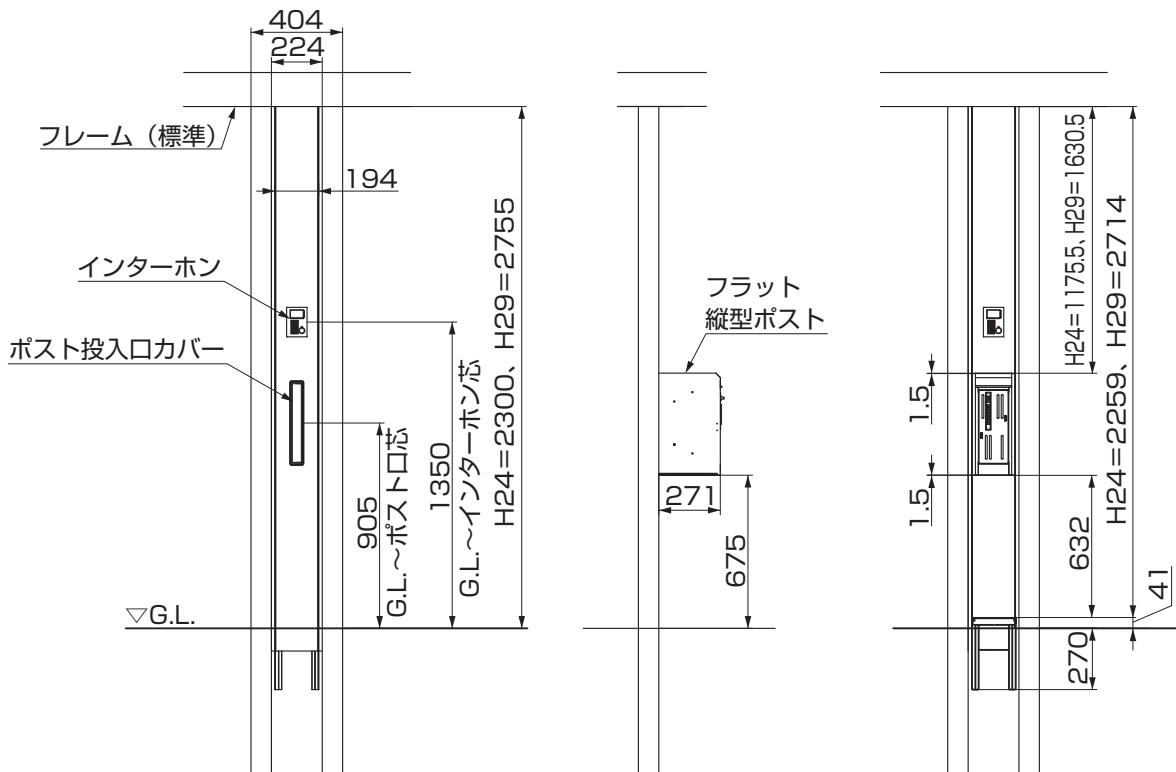
#### 3-3 ファンクション連結材施工の場合

※図のフレームは、フレーム（標準）を示す。  
150角フレームにも取付できます。

##### (1) 片側柱施工の場合

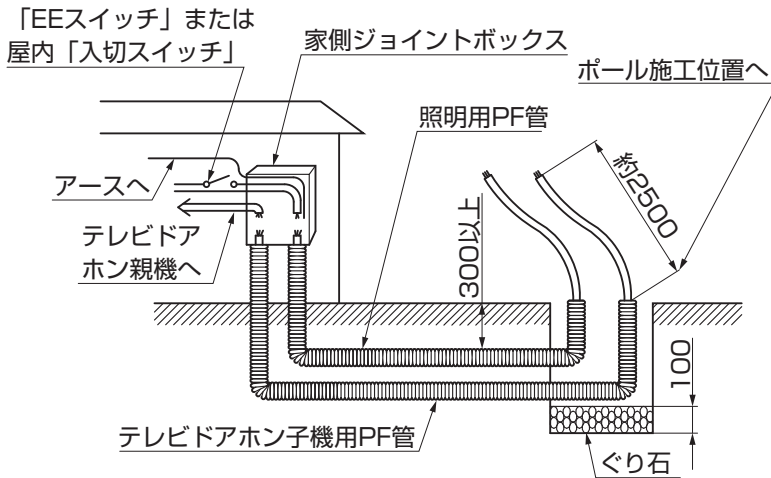


##### (2) 両側柱施工の場合



## 4. 基礎工事と配線工事

### 4-1 AC100V仕様の場合

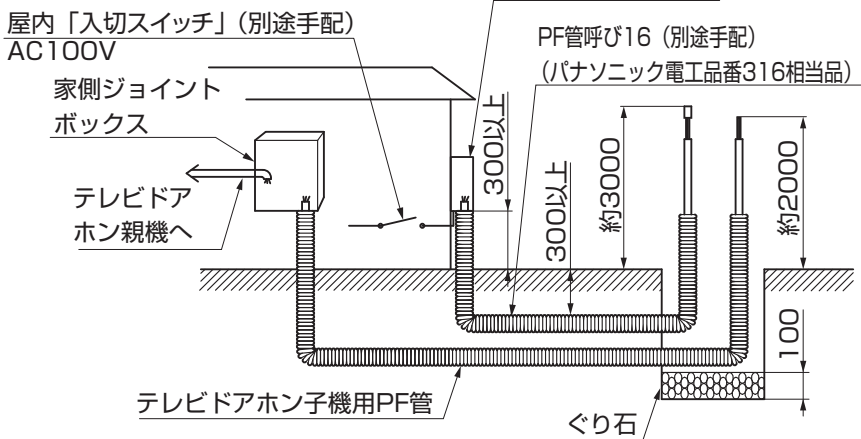


- ①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。
- ②照明およびテレビドアホン機器用の配線配管をしてください。

#### ポイント

- 支柱の埋設は、「9.バックパネル、バックフタの取付け」後、「3.基本寸法と各部名称」を参照し埋設してください。

### 4-2 DC12V仕様の場合



- ①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。
- ②照明およびテレビドアホン機器用の配線配管をしてください。

#### ポイント

- 支柱の埋設は、「8.バックパネル、バックフタの取付け」後、「3.基本寸法と各部名称」を参照し埋設してください。

### 4-3 基礎

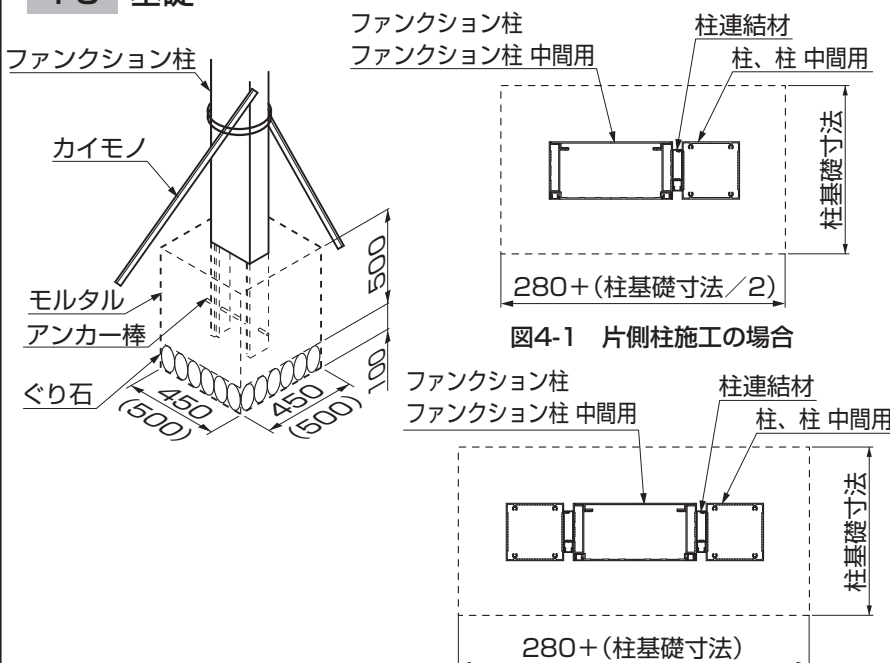


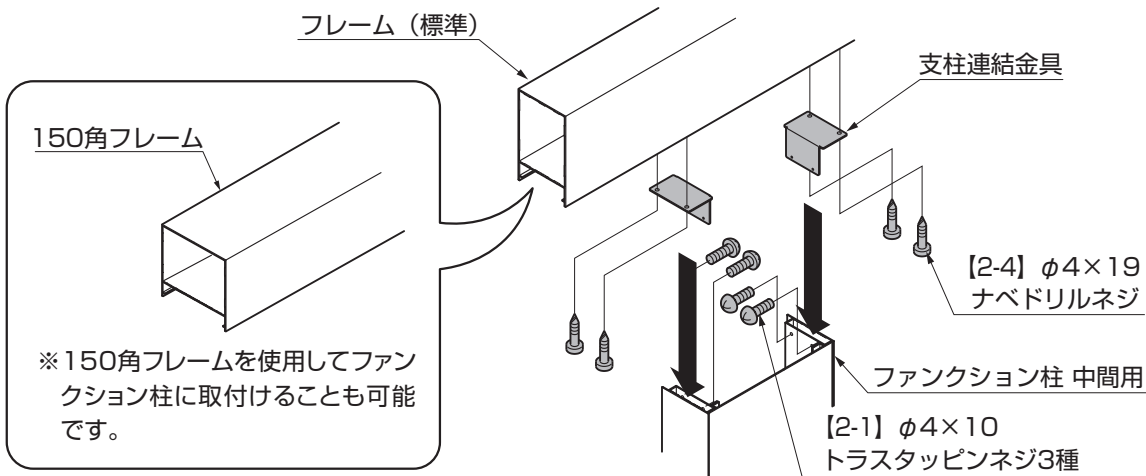
図4-2 両側柱施工の場合

#### ポイント

- アンカー棒は必ず取付けてください。
- 支柱には向きがあります。配管口が後側にくるようにしてください。
- 支柱の埋込み位置は必ずG.L.ラインへくるようにしてください。
- モルタルが固まるまでカイモノをして、支柱が動かないようにしてください。
- 養生中は配線の穴より雨水等が入らないようにしてください。
- 柱連結材取付けの場合の基礎サイズは図4-1、図4-2を参考に算出してください。その際柱基礎サイズは、「Gフレーム取付説明書(E248)」を参照してください。
- ( )内寸法はH29用の基礎サイズです。

## 5. フレームへの接続

※ファンクション柱 中間用の場合の作業です。  
 ※ファンクション連結材を取付ける場合は、  
 「8.ファンクション連結材の取付け」を参照してください。

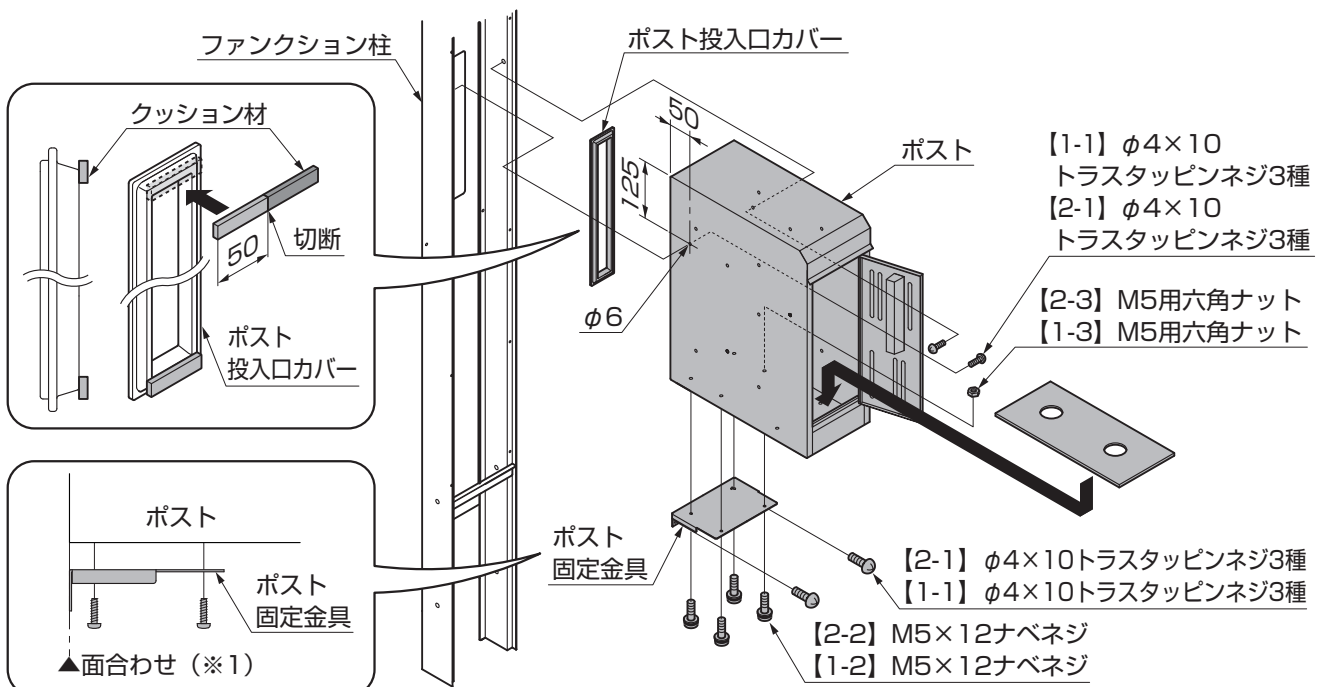


- ①ファンクション柱 中間用に【2-1】で支柱連結金具を取付けてください。
- ②支柱連結金具を【2-4】でフレームに取付けてください。

### 補足

- 支柱連結金具をファンクション柱中間用へ取付けは短めのドライバーをご使用ください。

## 6. ポストの取付け



- ①ポスト底板を一度外して、ポスト固定金具をポストに【1-2】、【1-3】または【2-2】、【2-3】で取付けてください。
- ②ポスト側面に $\phi 6$ の穴をあけてください。
- ③ポスト投入口カバーの上下にクッション材を貼付け、ファンクション柱とポストの間にはさみ込んで取付けてください。
- ④ポストをファンクション柱に【1-1】または【2-1】で取付けてください。

### 補足

- クッション材は内側にはみ出さないように上下2箇所貼付けてください。
- ポスト固定金具はガタツキを抑えるためにポストの面(※1)に合わせて取付けてください。

## 7. インターホンの取付け

### 7-1 インターホンの取付け (露出型) ※インターホンなしに露出型を取付ける場合の作業です。

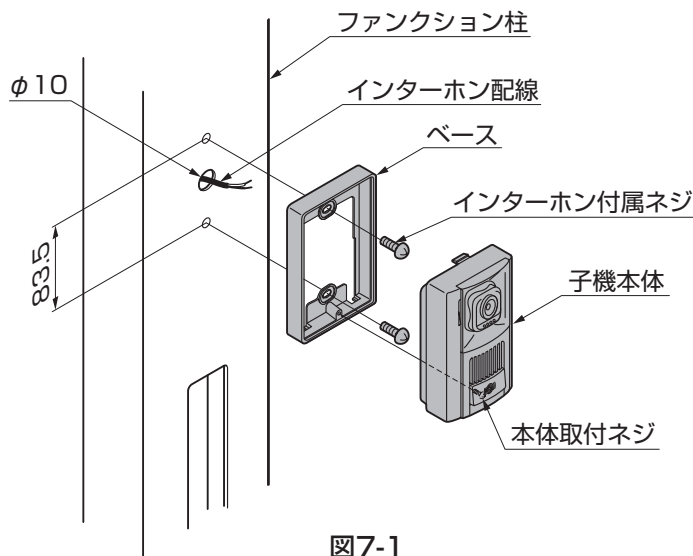


図7-1

- ①ファンクション柱に配線用穴φ10をあけてください。
- ②ベースを付属ネジで固定してください。
- ③インターホン子機の取付けおよび配線を行なってください。

#### ポイント

- 配線の詳細は、インターホン子機の取付説明書を参照してください。

### 7-2 インターホンの取付け (内蔵型) ※インターホンありに内蔵型を取付ける場合の作業です。

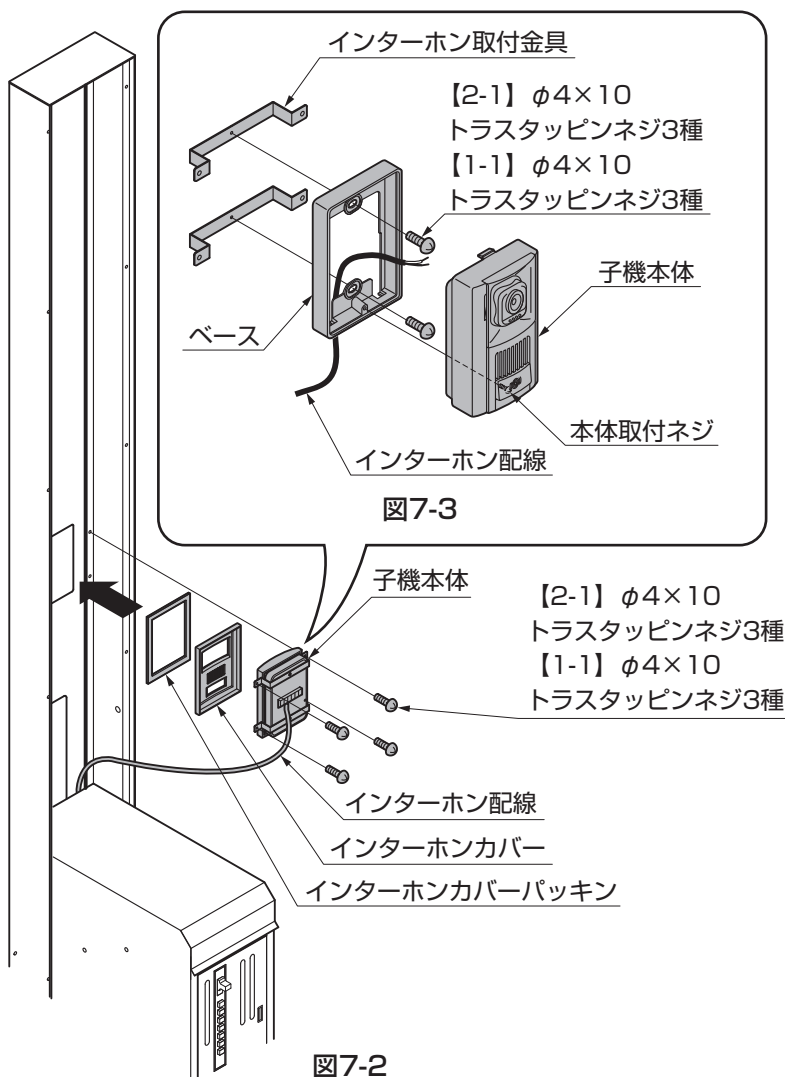


図7-2

- ①インターホンのベースをインターホン取付金具に【1-1】または【2-1】で固定してください。

#### ポイント

- 固定の際に配線を接続してください。配線の詳細は、インターホン子機の取付説明書を参照してください。
- インターホンの取付けの前にカメラ位置を調整してください。

- ②インターホンにインターホンカバーパッキンを貼付けて、ファンクション柱の角穴にはめ込んでください。
- ③インターホン取付金具をファンクション柱に【1-1】または【2-1】で取付けてください。

## 8. ファンクション連結材の取付け **オプション** ※連結材はフレーム下のみ取付け可能です。

### 8-1 片側柱 施工の場合

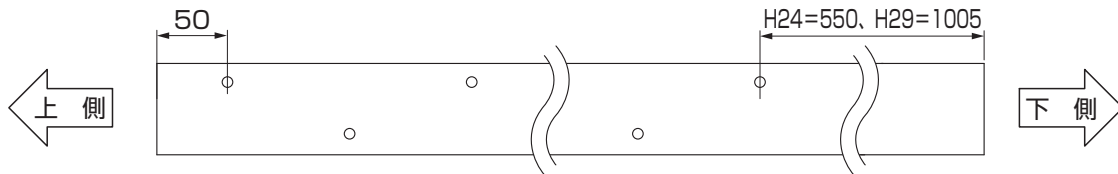


図8-1 連結材A、Bの上下について

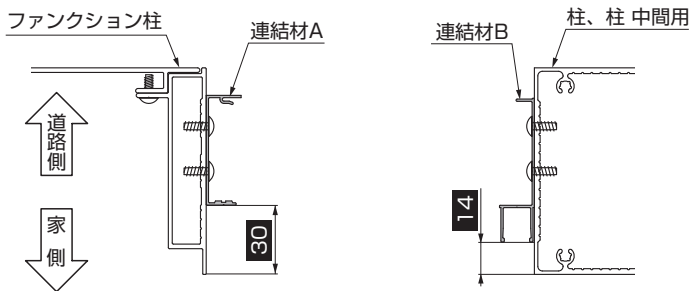
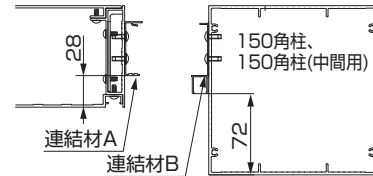


図8-2 連結材A、Bの取付け位置

#### 150角柱または150角柱(中間用)に取付ける場合

※ファンクション柱を片寄せ取付け



※ファンクション柱を中央取付け

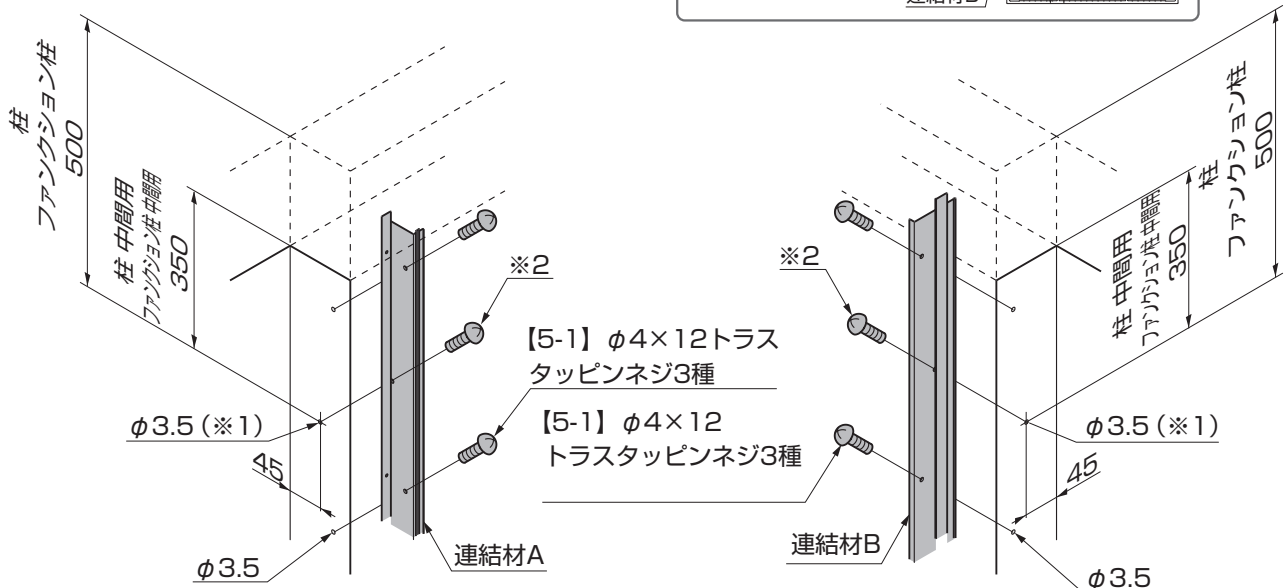
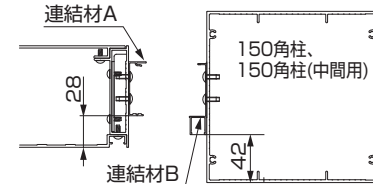


図8-3

図8-4

#### ポイント

●連結材A、連結材Bには上下がありますので確認してください。(図8-1参照)

- ①柱、柱 中間用、ファンクション柱、ファンクション柱 中間用にφ3.5(※1)の下穴をあけて※2の箇所のみ【5-1】で連結材A、連結材Bを仮固定してください。

#### ポイント

●柱、柱 中間用、ファンクション柱、ファンクション柱 中間用と連結材A、連結材Bの取付位置および平行・垂直がでていることを確認してください。(図8-2参照)

- ②柱、柱 中間用、ファンクション柱、ファンクション柱 中間用、連結材A、連結材Bをあてにしてケガキ、φ3.5の下穴を全箇所あけてください。  
③連結材A、連結材Bを【5-1】で取付けてください。

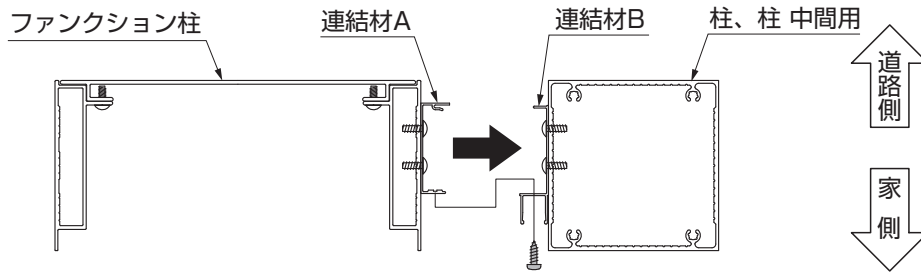


図8-5

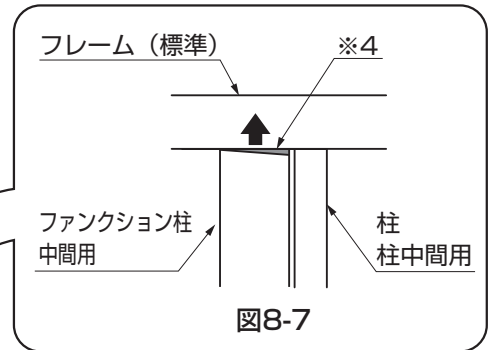


図8-7

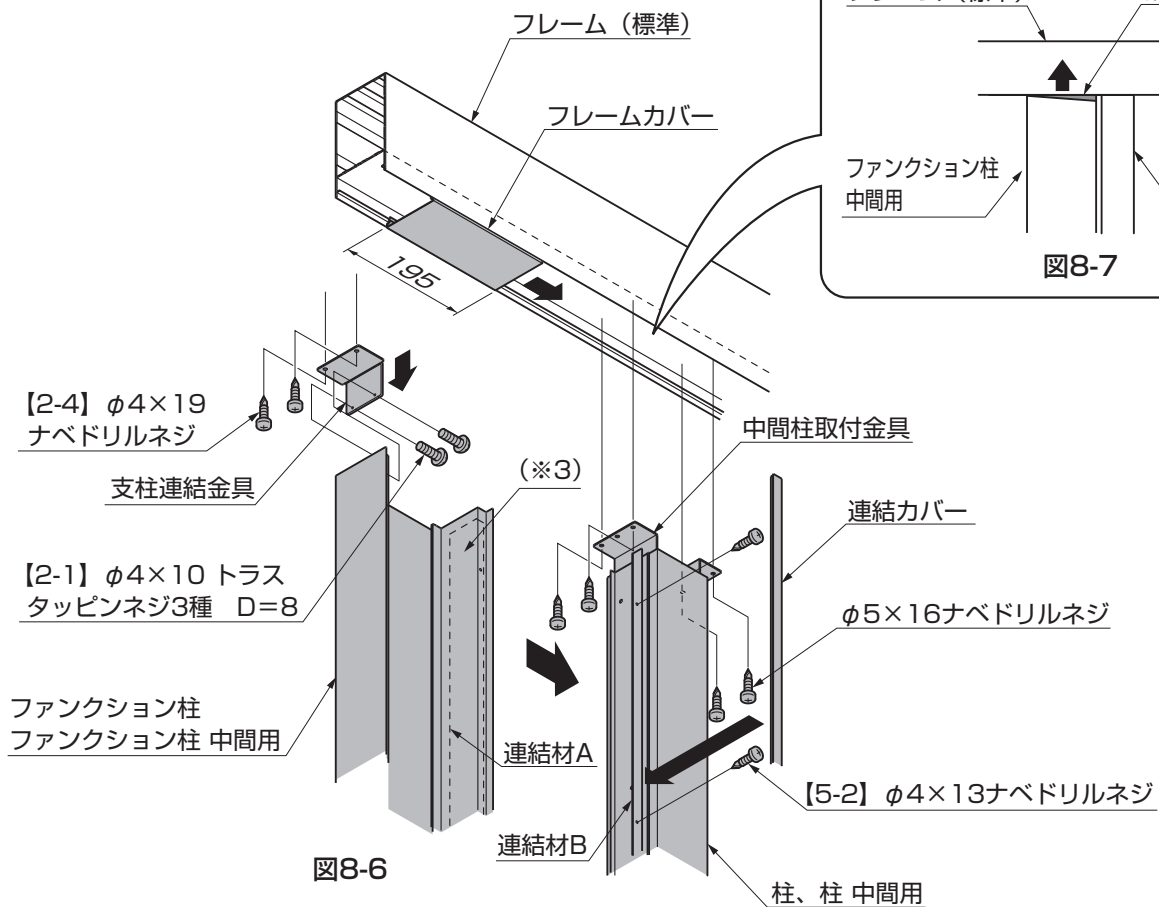


図8-6

- ③柱、柱 中間用をフレームにφ5×16ナベドリルネジで取付けてください。(図8-6参照)  
 ④ファンクション柱に、【2-1】で支柱連結金具を取付けてください。(図8-6参照)

**ポイント**

- ファンクション柱の連結側へは、支柱連結金具の取付けはしません。(※3)
- 柱、柱 中間用の取付けは「E248 Gフレーム 取付説明書」を参照してください。

- ⑤フレームカバーを195mmにカットしてフレームにはめ込み、柱または中間柱取付金具に突き当ててください。  
 ⑥連結材Aと連結材Bをはめ込んで、※4の箇所にすき間ができないように調整し、【5-2】で固定してください。  
 (図8-5、図8-6、図8-7参照)  
 ⑦連結カバーを連結材Bへはめてください。  
 ⑧ファンクション柱・ファンクション柱中間用をフレームに【2-4】で固定してください。

**ポイント**

- 連結カバーが下にずれないように養生してください。



※150角フレームと150角柱（中間用）の施工は、「Gフレーム 取付説明書（E248）」を参照してください。

## 8-2 片側柱(150角フレーム+150角片柱)施工の場合

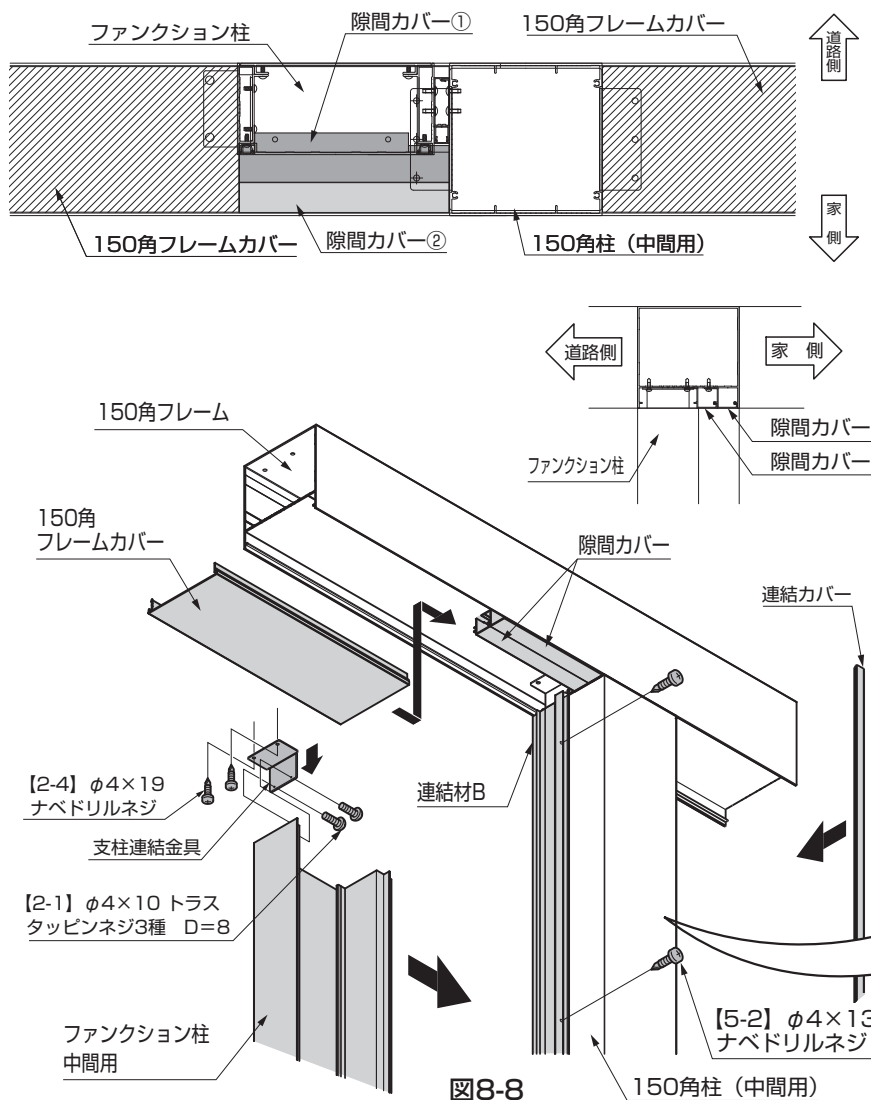


図8-8

- ① 150角柱（中間用）を150角フレームに取付けてください。
- ② ファンクション柱に、【2-1】で支柱連結金具を取付けてください。（図8-8参照）

### ポイント

- ファンクション柱の連結側へは、支柱連結金具の取付けはしません。
- 150角柱（中間用）の取付けは「E248 Gフレーム 取付説明書」を参照してください。
- 連結カバーが下にずれないように養生してください。

- ③ 隙間カバーをL=206に切断して2本にし、図のように現場切欠き加工してください。（図8-9参照）
- ④ 隙間カバーを取付けるための下穴φ5を、図の寸法位置（V溝）に加工してください。（図8-9参照）
- ⑤ 切断加工した隙間カバー2本を150角フレームにはめ込み、150角柱または150角柱中間用取付金具に突き当てて、φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。（図8-8参照）
- ⑥ ファンクション柱に取付けた連結材Aを150角柱（中間用）に取付けた連結材Bにはめ込んでください。
- ⑦ ファンクション柱に取付けた支柱連結金具を150角フレームに【2-4】で取付けてから、連結材Bに【5-2】で取付けてください。
- ⑧ 連結材カバーを連結材Bにはめ込んでください。

### ポイント

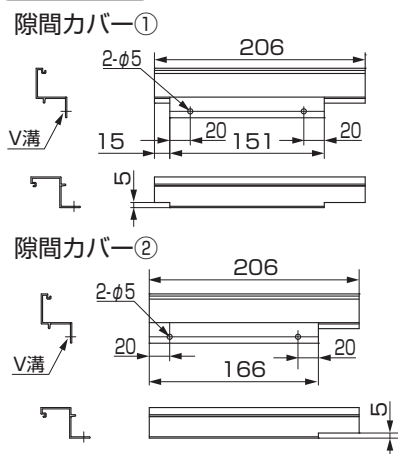
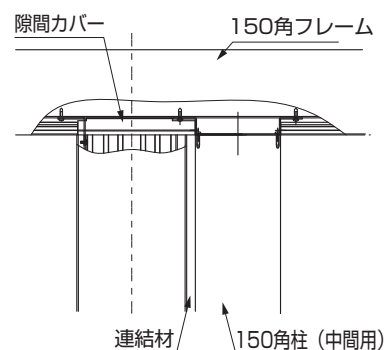


図8-9

- 隙間カバーをL=206に切断して2本にし、図のように切欠き加工をしてください。
- 寸法位置にφ5の穴加工をしてください。





### 8-3 中寄柱(150角フレーム+150角片柱)施工の場合

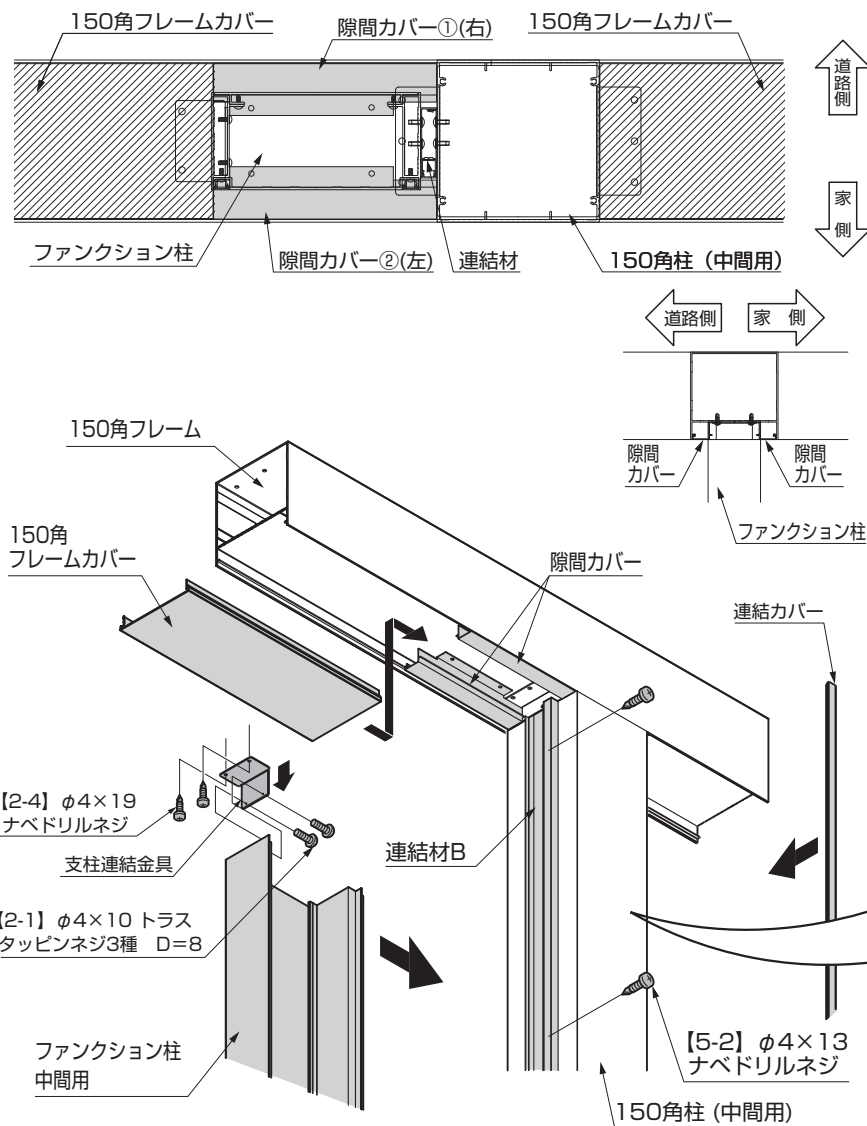


図8-10

- ① 150度柱(中間用)を150度フレームに取付けてください。
- ② ファンクション柱に、[2-1]で支柱連結金具を取付けてください。(図8-10参照)

#### ポイント

- ファンクション柱の連結側へは、支柱連結金具の取付けはしません。
- 柱、柱(中間用)の取付けは「E248 Gフレーム 取付説明書」を参照してください。
- 連結カバーが下にずれないように養生してください。

- ③ 隙間カバーをL=206に切断して2本にし、図のように現場切欠き加工してください。(図8-11参照)
- ④ 隙間カバーを取付ける穴φ5を図の寸法でV溝の位置にあけてください。
- ⑤ 切断加工した隙間カバー2本を150度フレームにはめ込み、ファンクション柱の前後と150度柱(中間用)取付金具に突き当てて、φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。
- ⑥ ファンクション柱に取付けた連結材Aを150度柱(中間用)に取付けた連結材Bにはめ込んでください。
- ⑦ ファンクション柱に取付けた支柱連結金具を150度フレームに[2-4]で取付けてから、連結材Bに[5-2]で取付けてください。
- ⑧ 連結カバーを連結材Bにはめ込んでください。

#### ポイント

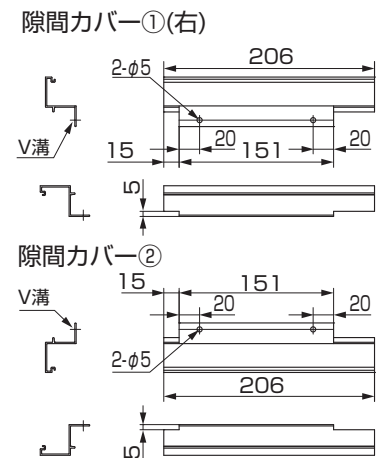
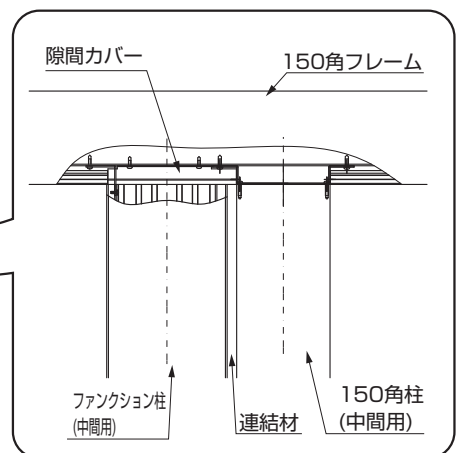


図8-11

- 隙間カバーをL=206に切断して2本にし、図のように切欠き加工をしてください。
- 寸法位置にφ5の穴加工をしてください。



※連結材Aと連結材Bの取付け位置寸法は、P14「8-1」を参照して取付けてください。  
 ※図の柱は90角中間用を示します。150角柱中間用も連結材の配置は同様です。

## 8-4 両側柱 施工の場合

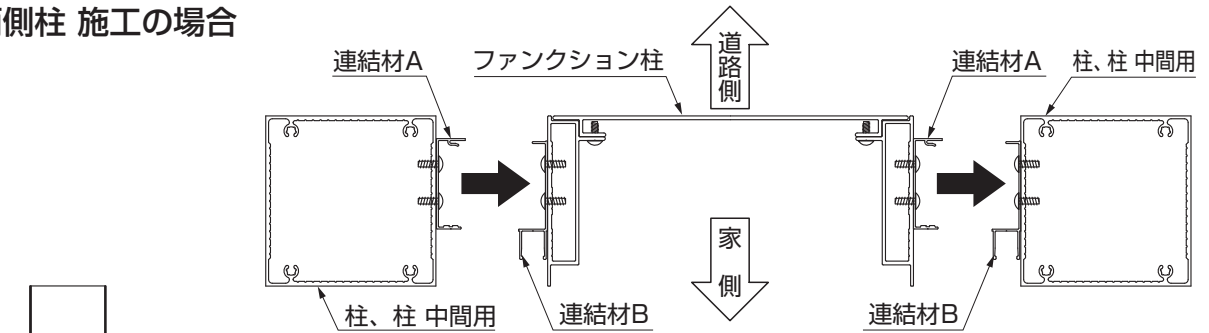


図8-13

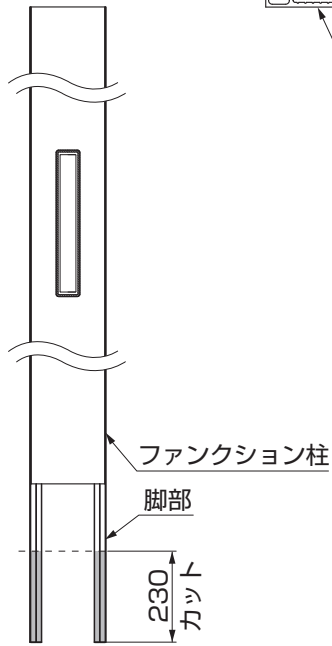


図8-12

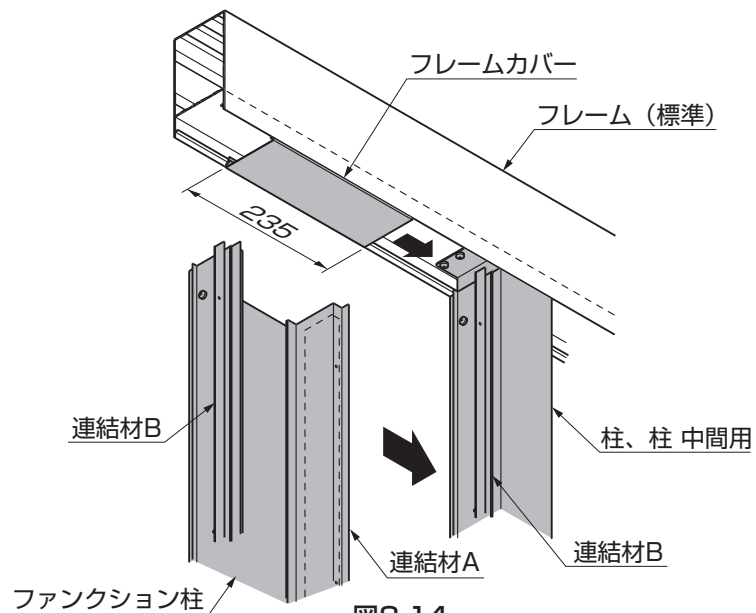


図8-14

- ①ファンクション柱脚部を230mmカットしてください。(図8-12参照)
- ②「8-2 片側施工の場合①～②」を参照して柱、柱 中間用とファンクション柱に、連結材A、連結材Bを取付けてください。

### ポイント

- 連結材A、連結材Bの配置を確認してください。(図8-13参照)
- 両側柱の際、ファンクション柱へ支柱連結金具の取付けは行ないません。

- ③1本目の柱 中間用をフレームに取り付けてください。

### ポイント

- 端部柱施工の場合は、下記の手順を先に行なってください。
  - ①端部柱を施工してください。
  - ②フレームカバーを235mmにカットしてはめ込み、端部柱に突き当ててください。
- 柱、柱 中間用の取付けは「Gフレーム 取付説明書(E248)」を参照してください。

- ④フレームカバーを235mmにカットしてはめ込み、中間柱取付金具に突き当ててください。(端部柱の場合は施工済みです。)
- ⑤柱、柱 中間用の連結材Bへ、ファンクション柱の連結材Aをはめ込んでください。(図8-13、図8-14参照)

### ポイント

- この段階でのねじ止めはしません。

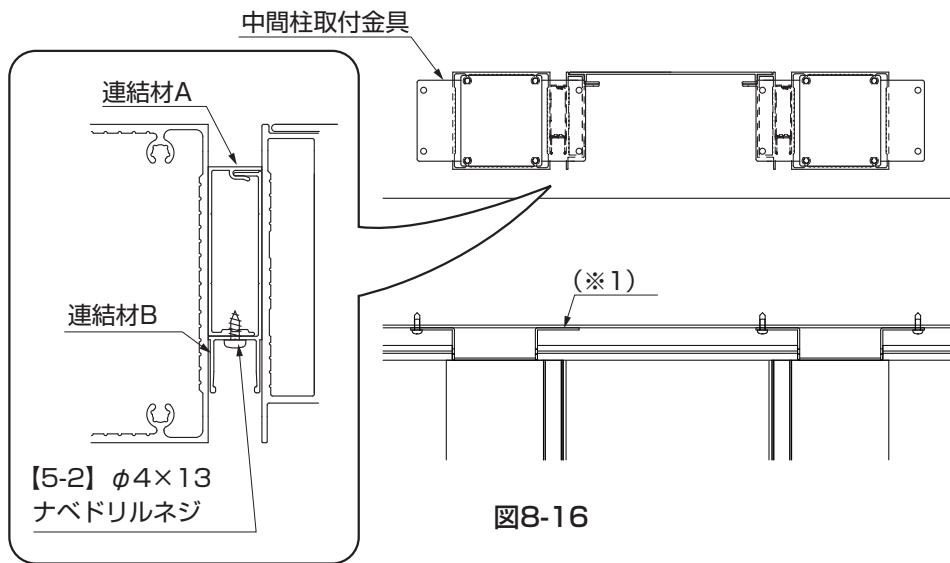


図8-16

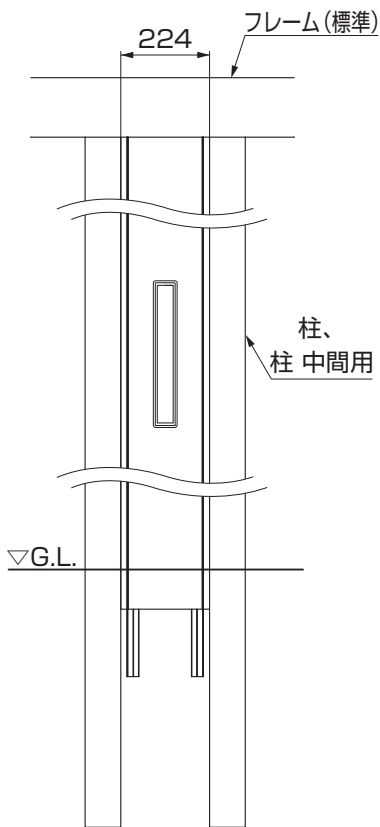


図8-15

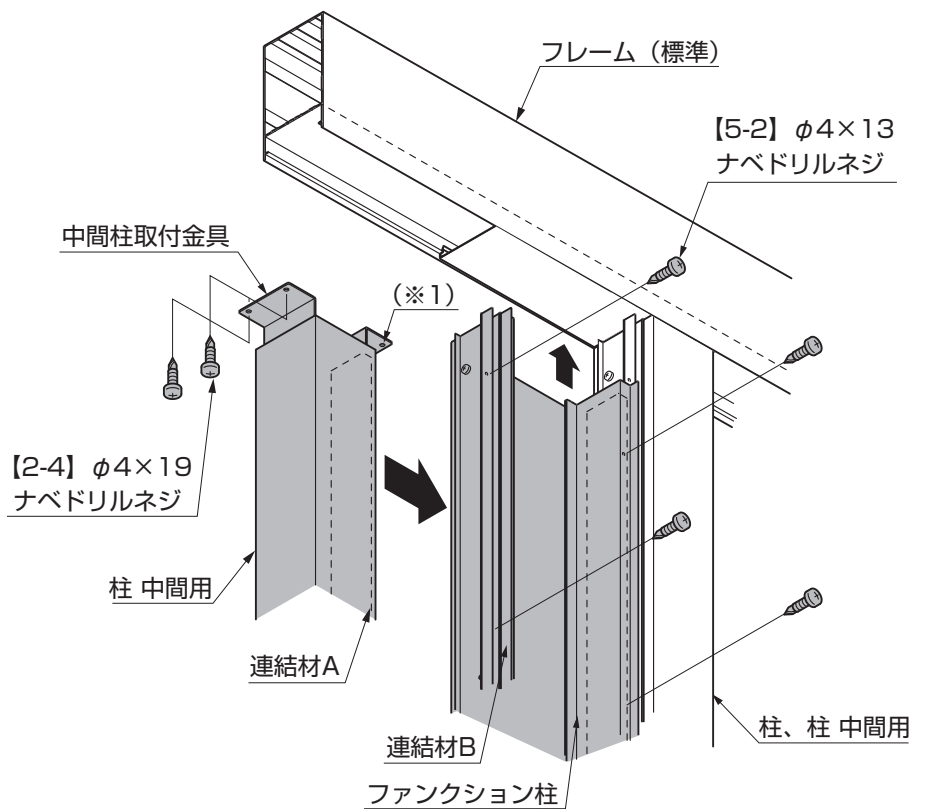


図8-17 柱 中間用を取付ける場合

- ⑥残った柱 中間用の連結材Aをファンクション柱の連結材Bにはめ込んでください。
- ⑦柱 中間用をフレームに取付けてください。

**ポイント**

- 柱 中間用の取付けは「Gフレーム 取付説明書 (E248)」を参照してください。
- 柱-柱間の寸法を確認してください。(図8-15参照)
- 柱 中間用を取付ける際、※1箇所へのネジの取付けは行ないません。(図8-16、図8-17参照)

- ⑧ファンクション柱を上へスライドさせてフレームカバーに突き当て、連結材A、連結材Bを【5-2】で取付けてください。(図8-16、図8-17参照)

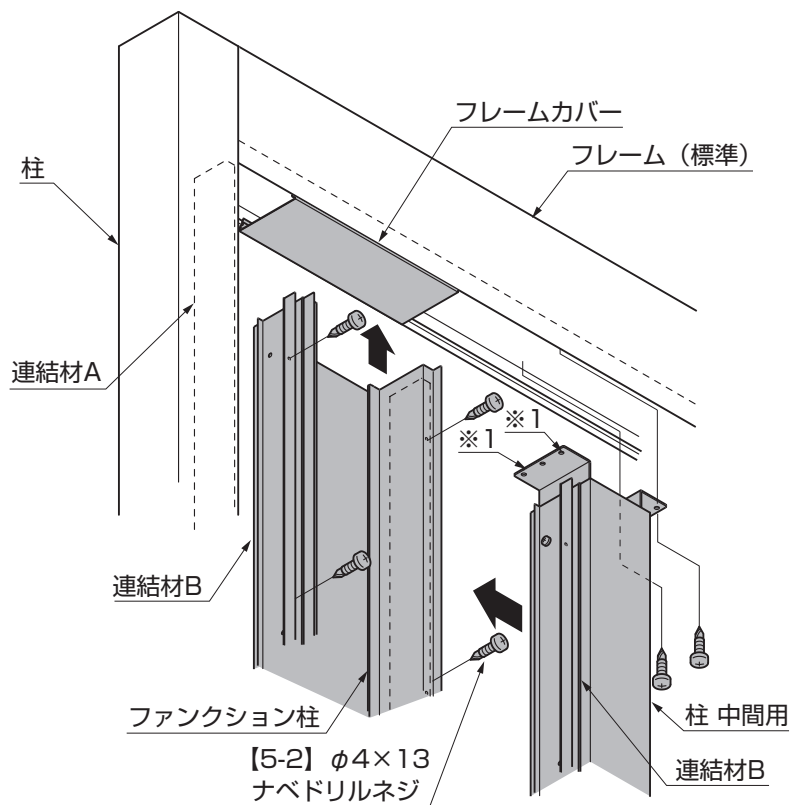


図8-18 端部柱を取付ける場合

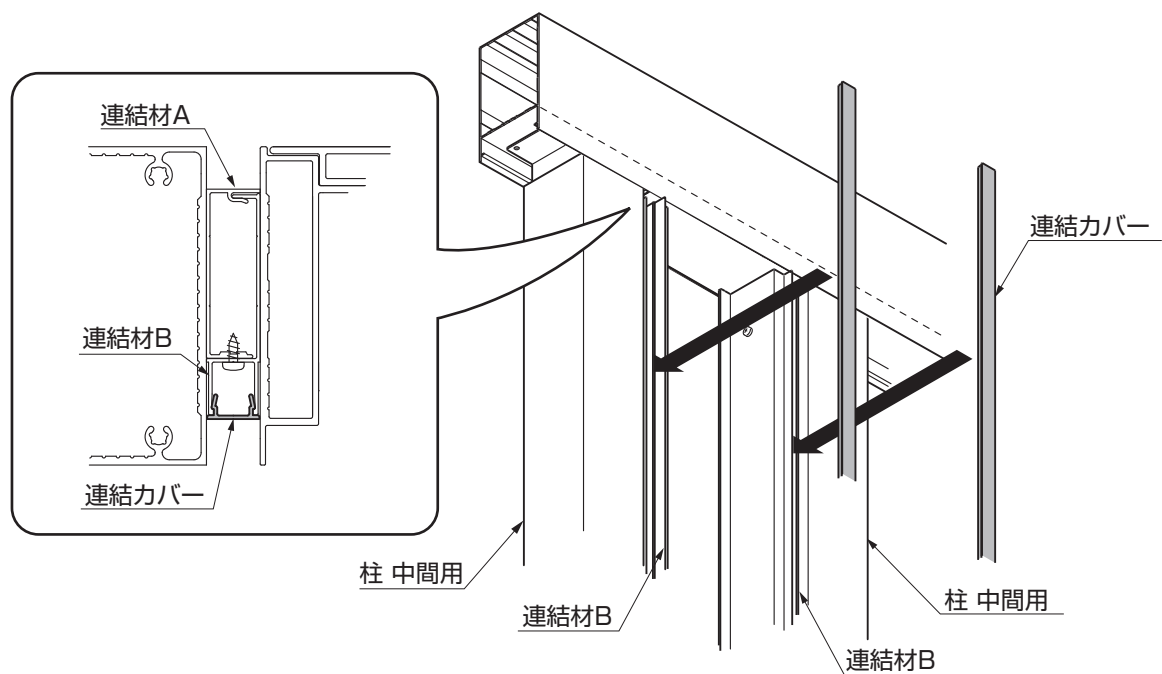


図8-19

**ポイント**

- 端部柱が取付いている場合の柱 中間用を取付ける際は、※1の箇所にネジの取付けは行ないません。(図8-18参照)
- 連結カバーが下にずれないように養生してください。

⑨連結カバーを連結材Bへはめてください。(図8-19参照)

※連結材Aと連結材Bを、150角柱または150角柱（中間用）とファンクション柱に取付ける位置寸法は、P14「8-1」を参照してください。  
 ※連結材Aと連結材Bの取付ける配置はP18「8-13」を参照してください。

### 8-5 片寄柱(150角フレーム+150角両柱)施工の場合

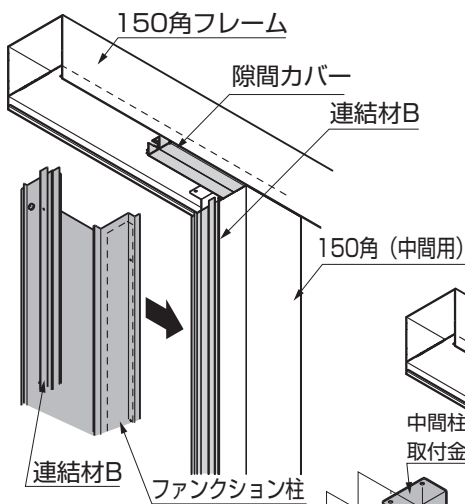
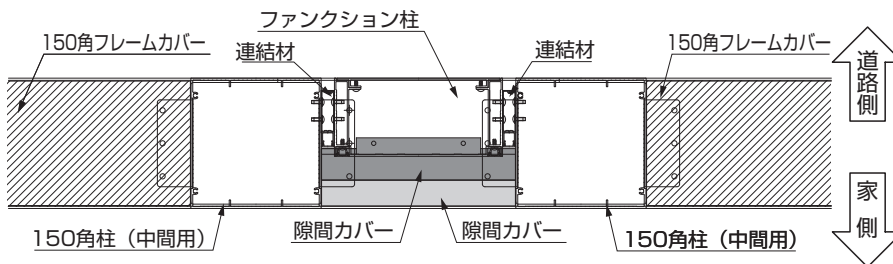


図8-17

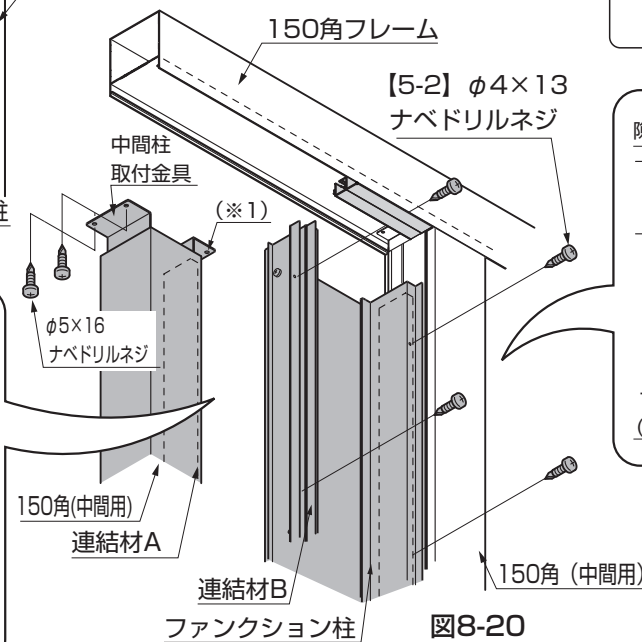
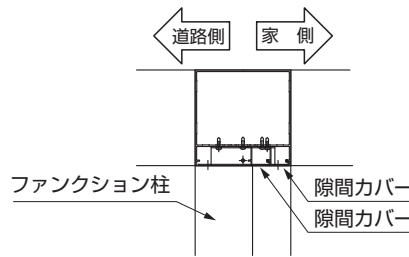
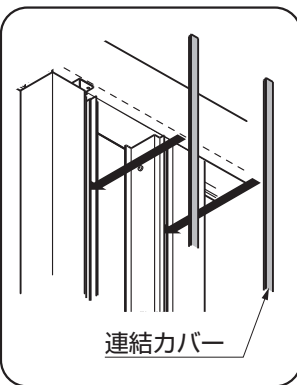


図8-20

#### ポイント

隙間カバー

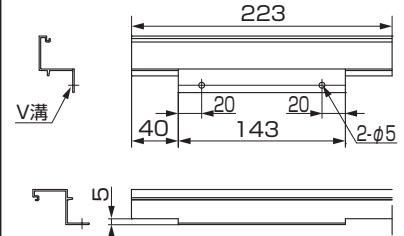
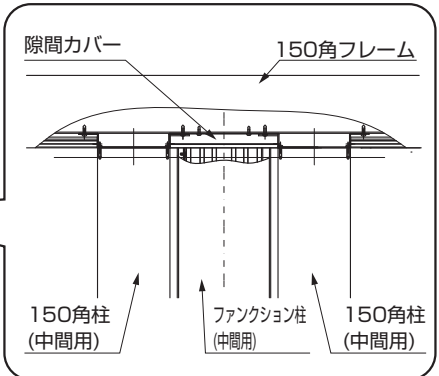


図8-21

- 隙間カバーをL=223に切断して2本にし、図のように切欠き加工をしてください。
- 寸法位置にφ5の穴加工をしてください。



- ①連結材Bを取付けた1本目の150角柱（中間用）を150角フレームに取付けてください。
- ②隙間カバーをL=223に切断して2本にします。図のように現場切欠き加工してください。（図8-21参照）
- ③隙間カバーを取付ける穴φ5を図の寸法でV溝の位置にあけてください。
- ④切断加工した隙間カバー2本を150角フレームにはめ込み、150角柱中間用取付金具の間に、φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。（図8-20参照）
- ⑤ファンクション柱に取付けた連結材Aを150角柱（中間用）に取付けた連結材Bにはめ込み【5-2】で取付けてください。
- ⑥2本目の150角柱（中間用）に取付けた連結材Aをファンクション柱に取付けた連結材Bにはめ込んでください。
- ⑦2本目の150角柱（中間用）を150角フレームに取付けてから、ファンクション柱に【5-2】で取付けてください。
- ⑧連結カバーを連結材Bにはめ込んでください。

#### ポイント

- 端部柱施工の場合は、端部柱の施工を先に行なってください。
- 柱、柱 中間用の取付けは「Gフレーム 取付説明書 (E248)」を参照してください。

## 8-6 中寄柱(150角フレーム+150角両柱)施工の場合

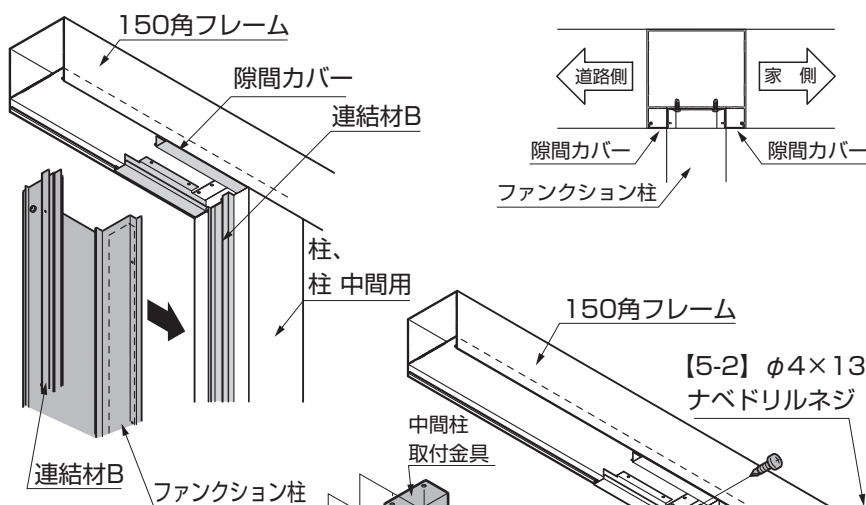
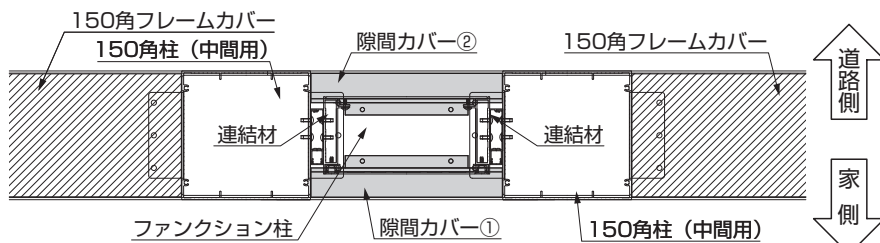


図8-20

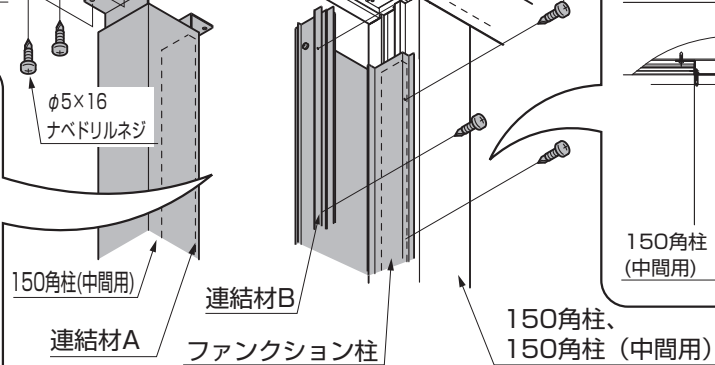
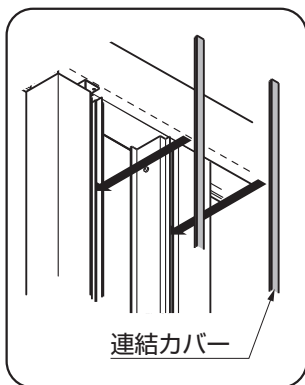


図8-22

### ポイント

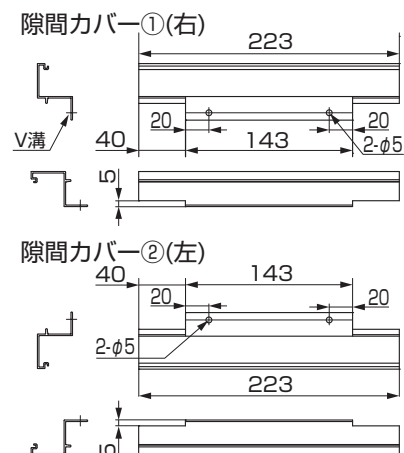
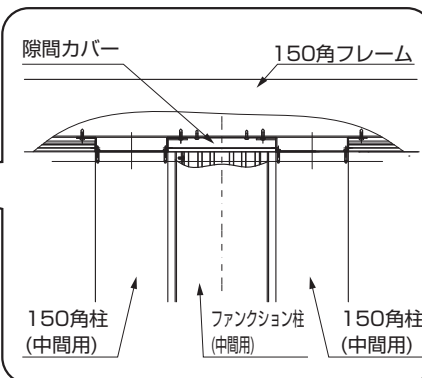


図8-23

- 隙間カバーをL=223に切断して2本にし、図のように切欠き加工をしてください。
- 寸法位置にφ5の穴加工をしてください。

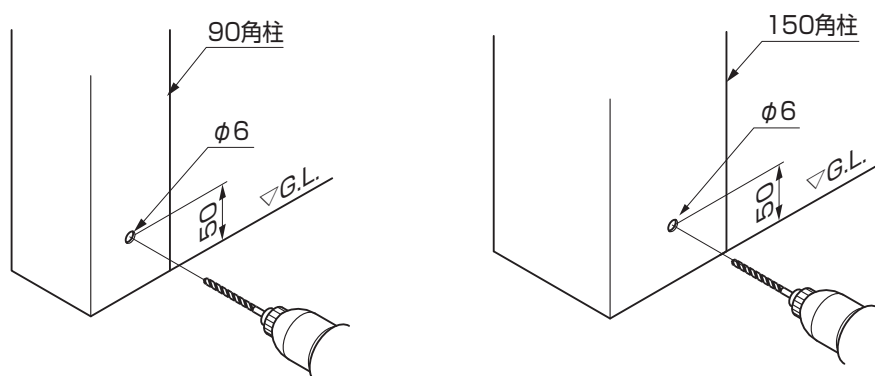


- ①連結材Bを取付けた1本目の150角柱(中間用)を150角フレームに取付けてください。
- ②隙間カバーをL=223に切断して2本にします。図のように現場切欠き加工してください。(図8-23参照)
- ③隙間カバーを取付ける穴φ5を図の寸法でV溝の位置にあけてください。
- ④切断加工した隙間カバー2本を150角フレームにはめ込み、150角柱中間用取付金具の間に入れ、φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。(図8-22参照)
- ⑤ファンクション柱に取付けた連結材Aを150角柱(中間用)に取付けた連結材Bにはめ込み【5-2】で取付けてください。
- ⑥2本目の150角柱(中間用)に取付けた連結材Aをファンクション柱に取付けた連結材Bにはめ込んでください。
- ⑦2本目の150角柱(中間用)を150角フレームに取付けてから、ファンクション柱に【5-2】で取付けてください。
- ⑧連結材Bを連結材Aにはめ込んでください。

### ポイント

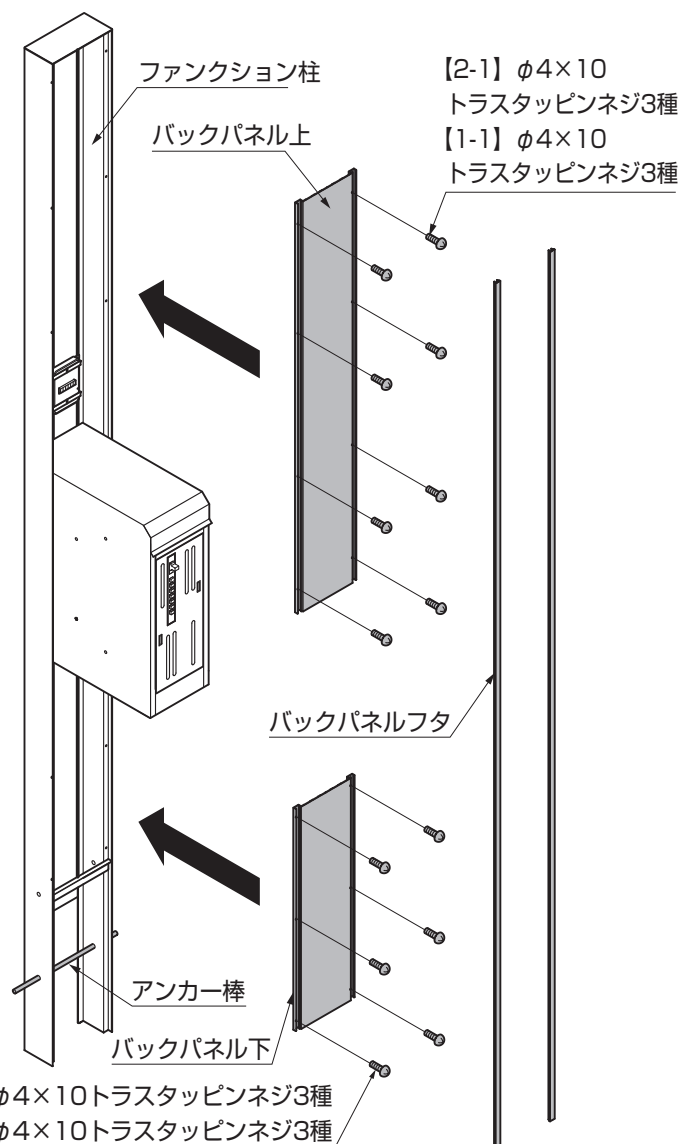
- 端部柱施工の場合は、端部柱の施工を先に行なってください。
- 柱、柱 中間用の取付けは「Gフレーム 取付説明書(E248)」を参照してください。

## 9. 柱の水抜き加工



①柱へφ6の水抜き穴をあけてください。

## 10. バックパネル、バックパネルフタの取付け ※図はH24を示します。

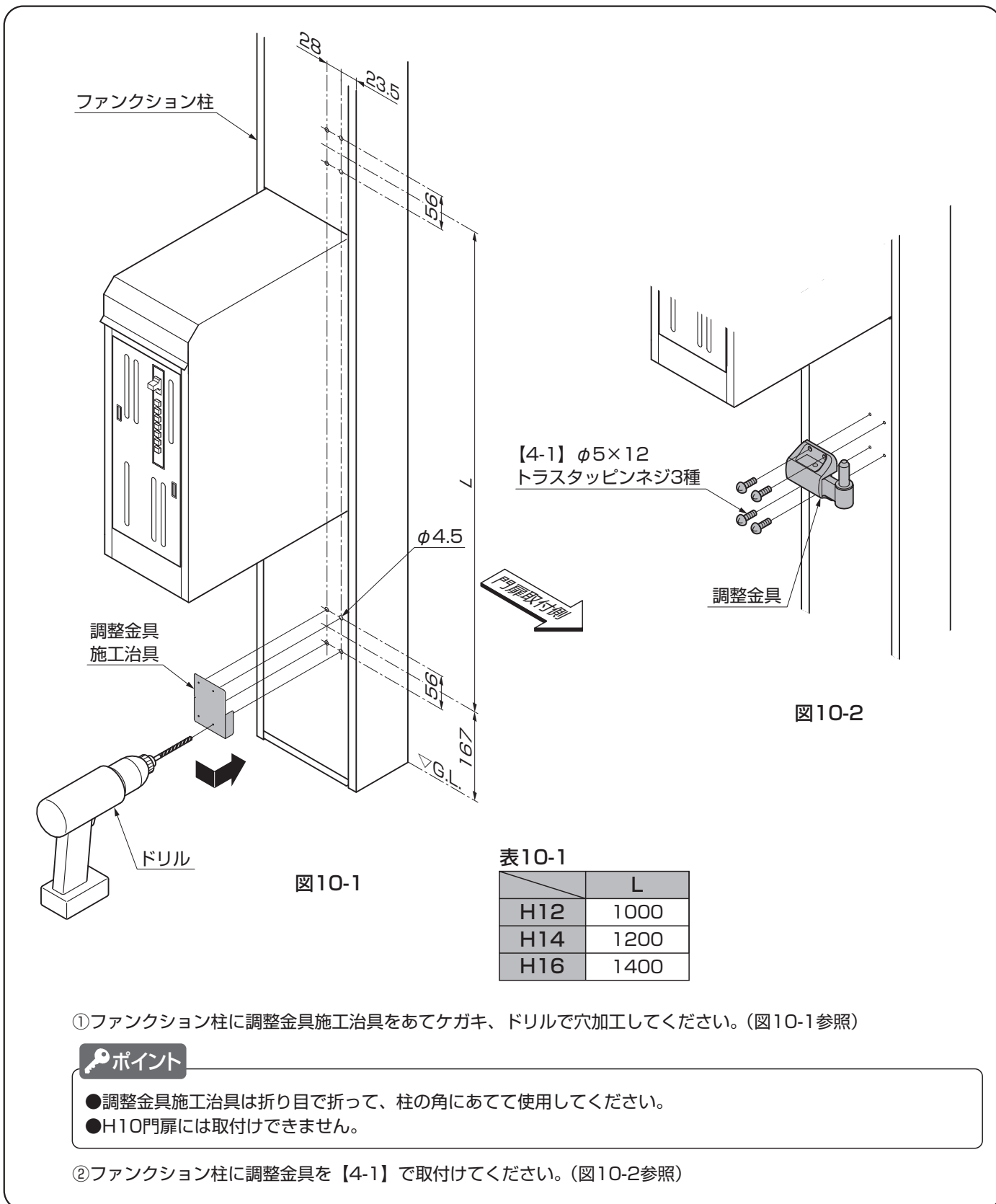


- ①バックパネル上、下をファンクション柱に【1-1】または【2-1】で取付けてください。
- ②バックパネルフタをバックパネル上、下にはめ込んでください。
- ③アンカー棒をファンクション柱に差込み、ファンクション柱を建込んでください。

### ポイント

- ファンクション柱の埋設は、「4.基礎工事と配線工事」を参照し埋設してください。
- ファンクション連結材を取付ける場合は、アンカー棒を取付取付けません。

## 11. 調整金具の取付け



取説コード

**A451**

JZZ614704K  
200705A\_1039  
202101K\_1049